

第 3 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

1組	児 童	男子15名	女子20名	計35名
	指導者	高野橋 千晶		
2組	児 童	男子14名	女子20名	計34名
	指導者	田口 和穂		

1 単元名 せつめいのしかたを工夫して、友達につたえよう（光村3年 下）

2 教材名 すがたをかえる大豆
食べ物のひみつを教えます

3 単元について

(1) 児童について

第3、4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心を捉えたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」ことである。「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べたことが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる」ことである。

児童は、1学期の説明文単元「読んでかんそうをもとう」において「ありの行列」を用いて、文章の内容について、自分の考えをまとめる学習を行ってきた。この学習を通して、順序立てたり根拠を挙げたりして、「はじめ」、「中」、「おわり」など、ある程度段落ごとに内容のまとまりをもたせ自分の考えをまとめる力がついてきている。しかし、自分の考えを書いている、相手に分かりやすく伝えるための工夫が足りない児童も見られる。

そこで、本単元は、筆者の説明の工夫をいかして、「へんしん、食べ物ブック」にまとめていくことを単元を通した言語活動とする。そして、読むことで捉えた文章構成の「中」の複数の事例説明の仕方をポイントとしながら、自分の考えの分かりやすい伝え方を考えさせたい。

(2) 指導にあたって

「つかむ・見通す」段階では、教材文を読み、そこから学んだ説明の工夫をいかして自分が興味・関心のある身近な食べ物を調べ、説明文の形にまとめていくことを投げかけ、意欲を高めていく。まとめた後は、発表会でみんなに伝えることを知らせ、相手意識をしっかりとさせたい。

「深める」段階では、教材文において要点や段落相互の関係を確かめながら内容を捉えるとともに、事例の示し方や接続語の使い方など、表現の工夫を視点とした読み取りを行っていく。さらに、読み取った筆者の表現の工夫について自分の考えを書く活動を重ねていき、表現の工夫の効果を意識付けさせ、単元を通した言語活動につなげていきたい。

「いかす」段階では、教材文において自分の調べたい食材を選び、それが工夫によってどんな食品に姿を変えているのか、例をあげて説明する文章を書いていく。その際、担任が準備した図書資料を調べたり家の人にインタビューしたりしたことをもとにする。また、「深める」段階で読み取った文章構成や事例の示し方、接続語の使い方などをいかして、読み手に伝わるように書かせる。書いた後は、児童同士で互いに観点に沿って表現されているかを交流しながら確かめる活動を取り入れ、推敲へとつなげていきたい。

(3) 教材について

「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもの

で、内容的には児童にとって身近なものである。さらに、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、その意味では児童に意外性をもって知ることの喜びを与える内容である。また、教材文は事例の挙げ方において筆者の表現の工夫を見つけやすい。それに、学んだ表現の工夫をいかす際、「食べ物のひみつを教えます」は書く材料選びや文章構成、「中」の部分の書き方について参考となる。

以上のことから考え、これらの教材は本単元のねらいに迫るために適した教材と考える。

4 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- 文章の内容に興味をもち、文章構成や表現の工夫を理解しながら読もうとすることができる。
- 教材文の表現に学んだ工夫を取り入れようとするすることができる。

【書くこと】

- 書く必要のある事柄を選択したり調べたりすることができる。
- ◎「はじめ・中・おわり」の構成を意識し、内容のまとまりごとに段落を分け、事例を挙げながら書くことができる。
- 書いたものを読み合い意見を伝え合うことができる。

【読むこと】

- ◎中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容と事例の取り上げ方を理解することができる。
- ◎内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- 接続語を適切に使って文を書くことができる。

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容に興味をもち、文章構成や表現の工夫を理解しながら読もうとしている。 ・教材文の表現に学んだ工夫を取り入れようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く必要のある事柄を選択したり調べたりしている。 【ア】 ・「はじめ・中・おわり」の構成を意識し、内容のまとまりごとに段落を分け、事例を挙げながら書いている。 【イ・ウ】 ・書いたものを読み合い意見を伝え合っている。 【カ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容と事例の取り上げ方を理解している。 【イ】 ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読んでいる。 【エ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語を適切に使って文を書いている。 【イ(ク)】

6 単元を通した言語活動

言語活動	「へんしん，食べ物ブック」を書く。
目的	友達に，材料がどんな工夫でどんな食品に姿を変えているか伝える。
相手	3年生の友達
様式	絵入りの説明文（事例3つ以上・まとめ）400字

7 単元指導計画（14時間扱い）

過程	時	主な学習活動 ★単元を通した言語活動につなげる書く ☆ペア学習・グループ学習	学習内容	評価規準
つかむ 見通す	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【目標】 読んで学んだことをいかして「へんしん，食べ物ブック」を作るということを確認することができる。</p> </div> <p>①教材文を読む。</p> <p>②単元のためあてを確認する。</p> <p>③学習計画を立てる。</p> <p>④語句について辞書で調べる。</p>	<p>□大豆がどんな姿に変わったかなどをつかませる。</p> <p>□「すがたをかえる大豆」の書き方の工夫をもとにして「へんしん，食べ物ブック」を書いて友達に発表するという，単元のためあてをつかむ。</p> <p>□学習の見通しをもつ。</p> <p>□文章中の言葉に注目し，国語辞典で調べ，意味を捉える。</p>	<p>【読カ】調べてみたい食べ物の材料についてまとめていくことを理解している。 (ノート)</p>
深める	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【目標】 文章全体の構成と，それぞれの部分のおおまかな内容・役割を捉えることができる。</p> </div> <p>①文章全体の構成を考える。</p> <p>②「はじめ」，「中」，「おわり」の部分に書かれていることを読み取る。</p> <p>★③文章構成や，段落の役割についてまとめる。</p> <p>☆④まとめたことを発表し合う。</p>	<p>□「イルカのねむり方」，「ありの行列」を想起させ，説明文のおおまかな構成について振り返る。</p> <p>□「はじめ」は「問い」がないこと，「中」は段落ごとに大豆をおいしく食べる工夫が書いてあること，「終わり」は理由と筆者の感想が書いてあることをつかむ。</p> <p>□文章構成や段落の役割について「イルカのねむりかた」，「ありの行列」と比較し，共通点や相違点を書く。</p> <p>□少人数で発表し合って，他の考えを知る。</p>	<p>【読イ】「はじめ」，「中」，「終わり」の構成や段落の役割を捉え，まとめている。 (ノート)</p>

深める	3	<p>【目標】 「中」の書かれ方を読み取ることができる。</p> <p>①「中」の部分は段落ごとに何が書かれているか読み取る。</p> <p>②おいしく食べる工夫（中心文）と大豆からできる食品を読み取る。</p> <p>★③「中」の段落の中心文をまとめる。</p>	<p>□「中」を読み、中心文を見つけ、段落ごとに一つずつ工夫が書いてあることに気付く。</p> <p>□中心文が段落の最初にあることに気付く。</p> <p>□どの段落も中心文から書いてあり、段落ごとに一つの事例が書いてあることの良さに気付く。</p>	<p>【読イ】 段落中の中心文を捉えている。（ノート）</p> <p>【読エ】 中心となる文（おいしく食べる工夫）や大事な言葉（食品）を意識してその部分を強めて読んでいる。（音読）</p>
	4	<p>【目標】 「中」の段落の説明の仕方の工夫を見つけることができる。</p> <p>①例を挙げる順番について考える。</p> <p>★②説明の仕方について自分の考えを書く。</p>	<p>□題名の「すがたをかえる」と接続語の使い方をもとにして、おいしく食べるための簡単な工夫から難しい工夫へ、という順番で例を挙げていることに気付く。</p> <p>□読み取った例の挙げ方・接続語の使い方など、説明の仕方の工夫について自分の考えを書く。</p>	<p>【読イ】 「中」の説明の仕方の工夫に気付いて、自分の考えをまとめている。（ノート）</p>
	5	<p>【目標】 説明文の分かりやすい書き方を知ることができる。</p> <p>①分かりやすい文章にするための工夫をまとめる。</p> <p>★②学習した感想を書く。</p> <p>☆③感想を発表し合う。</p>	<p>□文章構成・事例を挙げる順番・接続語について、どう工夫するのが分かりやすいか整理する。</p> <p>□「すがたを変える大豆」の学習を振り返り、どういう表現により、どんなことが分かりやすかったかを感想として書く。</p> <p>□グループ内で感想を発表し合い、互いの考えの違いに気付く。</p>	<p>【読イ】 文章構成・接続語の使い方・事例の挙げ方について考えたことをまとめる。（ノート）</p>
	6	<p>【目標】 興味のある本を選んで読むことができる。</p> <p>①食べ物についての本を読む。</p> <p>★②本を読んだ感想をまとめる。</p>	<p>□食材が工夫によっていろんな食品に変わること気付く。</p> <p>□食材が工夫によっていろんな食品に変わることについて感想を書く。</p>	<p>【読カ】 調べたいことや興味あることに関係ある図書資料を選び、進んで読んでいる。（観察）</p>

い か す	7	<p>【目標】 「へんしん、食べ物ブック」を作るために調べたい食材を選ぶことができる。</p> <p>★①「食べ物のひみつを教えます」をヒントに調べたい食材を決めて書く。</p>	<p>□図書資料から調べたい食材を決め、ワークシートに書く。</p>	<p>【関】食べ物について関心をもち、進んで調べようとしている。 (ワークシート)</p>
	8	<p>【目標】 選んだ食材について、調べることができる。</p> <p>★①選んだ食材について調べたことを書く。</p>	<p>□選んだ食材がどのようにして食品に変化するか、観点に沿ってカードにメモする。</p>	<p>【書ア】必要な事柄を観点に沿ってメモしている。 (カード)</p>
	9	<p>【目標】 全体の構成を考え、「はじめ」、「終わり」の文章を書くことができる。</p> <p>①学んだ説明の仕方の工夫を振り返り、「食べ物のひみつを教えます」の教材文を参考に、説明する文章を書くために大切なことを確認する。</p> <p>★②「はじめ」、「おわり」の文章を書く。</p> <p>☆③書いた文をペアで読み合う。</p>	<p>□「はじめ」、「中」、「終わり」の構成・「中」のまとまりに具体例ということを振り返り、確認する。</p> <p>□「はじめ」の部分(説明する食材)と「終わり」の部分(全体のまとめ)を書く。</p> <p>□観点に沿って書いてあるか確かめる。</p>	<p>【書イ】学んだ説明の仕方の工夫をいかして、メモをもとに「はじめ」と「終わり」の文章を書く。 (ワークシート)</p>
	10	<p>【目標】 文章例を参考にしながら、説明する文章を書くことができる。</p> <p>①8次で書いたカードを見て、「中」に書き表わす食品を選ぶ。</p> <p>★②「中」の文章を、文例にならって短冊に書く。</p> <p>★③自分の書いた文章を、確認事項をもとに読み返し推敲する。</p>	<p>□カードの中から、自分が伝えたいと考える内容を選択する。</p> <p>□「中」の部分(食品名と調理のしかた)を簡潔に書く。</p> <p>□一段落一事項か、習った漢字を使っているか、文末表現は適切か、見直しをする。</p>	<p>【書イ】学んだ説明の仕方の工夫をいかして、メモをもとに「はじめ」と「終わり」の文章を書く。 (短冊)</p>

<p>11</p> <p>本時</p> <p>二組</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【目標】 内容ごとの段落のまとまりに分け、順序を考え「中」の文案を作ることができる。</p> </div> <p>①学んだ説明の仕方の工夫を振り返り、「中」の文章を書くために大切なことを確認する。</p> <p>★②「中」の文案を作る。</p> <p>☆③書いた文をペアで読み合う。</p> <p>□事例の挙げ方・接続語の使い方などについて、学んだ説明の工夫を振り返り確認する。</p> <p>□「中」の事例のカードを意図に沿って説明したい順番に並べ、接続語を書く。</p> <p>□自分の文章を読み直した後、ペアで読み合い、内容ごとの段落のまとまり、接続語に間違いがないか確認する。</p>	<p>【書イ】説明したい順を考えて、メモをもとに「中」の文案を作っている。</p> <p>(ワークシート)</p>
<p>12</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【目標】 見直ししながら間違いを正したり、良い表現に書き直したりすることができる。</p> </div> <p>★①下書きした文章を読み返し、推敲する。</p> <p>☆②書いた文を少グループで見直す。</p> <p>□前時までペアで指摘された部分を確認し、文章を推敲する。</p> <p>□指摘された文を直したか、「中」の事例が「はじめ」、「おわり」とつながっているか、接続語の使い方が適切か、視点ごとに確かめ合う。</p>	<p>【書ウ】文章の間違いを正したり、良い表現に書き直したりしている。</p> <p>【書ウ】目的に応じて事例を挙げて書いている。</p> <p>【言ク】接続語の役割を理解し、使うことができる。</p> <p>(ワークシート)</p>
<p>13</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【目標】 絵と照応させながら下書きした文章を清書することができる。</p> </div> <p>★①下書きをもとに、清書する。</p> <p>②声に出して読む。</p> <p>□題名や文と照応する絵を入れて清書する。</p> <p>□声に出して読むことで、書いた文の最終の確かめをする。</p>	<p>【書オ】推敲したところを確かめながら、丁寧に清書している。</p> <p>(カード)</p>
<p>14</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【目標】 作品を交流し合い、文章表現の良いところを見つけることができる。</p> </div> <p>☆①作品を読み合い、交流する。</p> <p>②単元の振り返りをする。</p> <p>□友達の作品を読み合い、表現の工夫について、良いところを見つけて伝える。</p> <p>□単元の振り返りをして、どんなことを学んだか、確かめ合う。</p>	<p>【書カ】友達の作品に対して、学んだ工夫について、どういかに表現しているか、良いところを伝えることができる。</p> <p>(シート)</p>

関連図書

教室に食べ物の本コーナーを設け、調べ学習で利用する。

(「つかむ」の1時から本コーナーを設置し、「深める」の7時から調べ学習で利用)

8 本時の指導【4 / 14時間 3年1組】

(1) 目標

「中」の段落の説明の仕方の工夫を見つけることができる。

(2) 本時の指導にあたって

○書くことにかす要素を明確にした読み取りの仕方

- ・本時の書くことにかす要素は、「中」の書き方の工夫
- ・例をあげる順番（簡単な工夫から難しい工夫へ）

上記について、調理の言葉と写真の照応をしたり接続語に目を向けたりした読みをさせる。

○単元を通した言語活動につなげる書かせ方

本時は、筆者の事例の挙げ方について自分の考えを書かせる。

単元を通した言語活動では、本時で書いた筆者の事例の書き方の工夫をいかして、「へんしん、食べ物ブック」を書かせる。

(3) 展開

階 層	学 習 活 動	○教師の働きかけ ・期待する児童の反応	支 援
つ か む 5 分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題をつかむ。	○「中」の部分は、どんな食品が事例として挙げられていましたか。 ・に豆、きなこ、とうふ、なっとう・みそ・しょうゆ、えだ豆・もやし 筆者は、「中」でどんな工夫をしているか見つけよう。	・学習したことが、自分で説明文を書く時に役に立つことを確認する。
深 め る	3 筆者の「中」の工夫を読み取る。 (1) 事例が、どんな順番で挙げられているか考える。 ・「ありの行列」と「じどう車くらべ」の「中」の段落の順番について考える。 ・「中」の音読をする。 3～7段落	○「ありの行列」と「じどう車くらべ」の「中」の段落の順番を替えてみましょう。どう思いましたか。 ・「ありの行列」はおかしい。話がつながらない。 ・「じどう車くらべ」は話がつながる。 ○「すがたをかえる大豆」の「中」の段落の順番を替えてみましょう。話の内容はつながりますか。 ・つながる。 ○事例を挙げる順番を考えながら音読しましょう。	・順番を替えると話の内容がつながるものとつながらないものがあることを確かめる。 ・順番を替えても話の内容がつながることを確認し、順番を意識していくことを伝える。

<p>深 め る</p>	<p>・「中」の順番を自分で考えて並び替える。</p> <p>・筆者の「中」の順番について話し合う。</p> <p>(2)「中」の工夫について分かったことを書く。</p>	<p>○「中」を自分が一番いいと思う順番で並べましょう。</p> <p>○その並びにした理由を發表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな食べ物だから。 ・食事の時にいつも出ているから。 <p>○筆者はなぜ、この順番で書いたと思いますか。書いて發表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい順 ・大豆の形に近い順 ・作り方の簡単な順 <p>○どんな順番にすれば、読む人に伝わるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい順 ・簡単な順 <p>○筆者は、「中」でどんな工夫をしているのか、分かったことを書きましょう。</p>	<p>・「中」の中心文と写真をカードにしたものを使い、意図に沿って並ばせる。</p> <p>・児童の考えを認め、事例の並べ方には意図があることを知らせる。</p> <p>・題名やつなぎ言葉、写真、中心文に着目させる。</p> <p>・読み手のことを考えて順番を決めることに気付かせたい。</p>
<p>< 具体の評価規準 ></p> <p>A 事例を挙げる順番を工夫する必要性が分かり、自分が説明文を書くときにいかそうという感想も書いている。</p> <p>B 事例を挙げる順番を工夫する必要性が分かっている。</p> <p>Bに達しない児童への支援</p> <p>板書を確認し、筆者がどんな意図で順番を考えたのか・写真を使うとどんないいことがあるのかを振り返らせてから書くようにさせる。</p>			
<p>35 分</p>	<p>4 分かったことをまとめて交流する。</p>	<p>○隣の人にインタビューしましょう。</p>	<p>・ペア学習の場を設定し、インタビューすることにより活性化させたい。</p>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>6 振り返る。</p>	<p>○隣の人とどんなインタビューをしたのか發表しましょう。</p> <p>○友達の考えと比べたこと、自分が説明文を書く時に役立てたいことを發表しましょう。</p>	<p>・全体に広げ、説明の工夫を確認したい。</p> <p>・学んだことを發表させ、認め合いたい。</p>

すがたをかえる大豆

国分 牧衛

筆者は、「中」でどんな工夫をしているか見つけよう

○「中」の順番

児童が考えた
「中」の順番

教材文

- ・わかりやすい順
- ・大豆の形に近い順
- ・作り方のかんたんな順

順番を考える時

読む人にとってわかりやすいこと

8 本時の目標【11/14時間 3年2組】

(1) 目標

内容ごとの段落のまとまりに分け、順序を考え「中」の文案を作ることができる。

(2) 本時の指導にあたって

○書くことにはかす要素を明確にするこれまでの振り返りの仕方

「中」の部分の事例の挙げ方（簡単な作り方の工夫から書く・段落の最初は中心文にする）、接続語の使い方について、壁面の紙板書やノートを利用して振り返らせる。

○読み取りをいかした書かせ方

「中」の事例のカードを意図に沿って順番に並べ、接続語でつなぐようにさせる。その際、なぜそのような順番にしたか、説明できるようにさせる。

(3) 展開

階 層	学 習 活 動	○ 教 師 の 働 き かけ ・ 期 待 す る 児 童 の 反 応	支 援
つ か む 5 分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題をつかむ。	○前の時間で書いた「はじめ」、「終わり」の段落を読みましよう。 ・声に出してそれぞれ読む。 「中」の段落を工夫して組み立てよう	・前時に書いた文章を読み、自分の伝えたいことを再確認させる。
深 め る 35 分	3 「すがたをかえる大豆」で学習した内容を確認する。 (1) 「中」の組み立ての工夫を振り返る。 4 「食べ物のひみつを教えます」の教材文の、「中」の書き方も参考にする。 5 「中」の段落を組み立てる。 (1) 事例を挙げる順番を考え、カードを並べる。 (2) 段落の間に接続語を書く。	○「中」は、読み手に伝わりやすくなるように、どんな工夫がありましたか。 ・作り方の工夫について、簡単な順番に事例が挙げられていました。 ・それぞれの段落の始めに、つなぎ言葉を使っていました。 ○「食べ物のひみつを教えます」の「中」の段落の書き方はどうなっていますか。 ・思い浮かべやすい食品の順番になっています。 ・段落の始めに食品が書いてあります。 ○どの順番に事例を挙げると読み手が分かりやすいか考え、事例のカードを並べましよう。 ・(順番を考えながらカードを並べる) ○流れに沿うように、つなぎ言葉を書き込みましよう。	・ノートや壁面掲示を見直して、中の部分の事例の挙げ方や、接続語の使い方について確かめさせる。 ・本時では、段落の組み立てを考えること、つなぎ言葉でつなげる作業をすることを確かめる。 ・「中」の事例のカードを意図に沿って順番に並べさせる。 ・終わったら見直しをして、なぜそのような事例の順番にしたのか、その理由を書かせる。

深 め る	(3) 段落の間に接続語を書く。	○流れに沿うように、つなぎ言葉を書き込みましょう。	・つなぎ言葉分類表を見せながら、書き込ませる。
	(4) ペアで読み合う。	○隣の友達と文案を読み合います。並べ方の工夫を考えながら読みましょう。その後、感想を言い合ひましょう。	・相手の文案の配列の意図を考えること、つなぎ方が自然かどうかを相互評価できるよう促す。
35分	<p>< 具体の評価規準 ></p> <p>A 組み立てた順番の理由を書き、接続語を適確に用いて「中」の部分の文案を作っている。</p> <p>B 組み立ての順番を考え、接続語を用いて「中」の部分の文案を作っている。</p> <p>Bに達しない児童への支援 組み立ての順番についての意思を、口頭で確かめながら作業をさせる。接続語については、教材文を参考にさせる。</p>		
	(5) 発表する。	○仕上がった文案を発表してもらいます。よく聞きましょう。	・事例の順番の工夫もされている、つなぎ言葉の使い方が適切な文章を紹介し、良い書き方に気付かせる。
ま と め る	6 学習のまとめをする。	○ 仕上がった文案を、その場で一人一人、声に出して読みましょう。	・本時で学んだことを発表し、できたことを認め合うようにさせる。
	7 振り返る。	・(自分で書いた「中」の文を読む。) ○ 今日、「中」の組み立てを考えました。学習の感想を発表しましょう。	
	8 次時の確かめをする。	・つなぎ言葉を使うことができました。 ・○○さんは、例の並べ方に工夫を入れて書いていました。 ・早く清書したいです。 ○ 次の時間は、「はじめ」、「終わり」とつなげて清書をします。	
5分			

9 板書計画

<p>「中」の段落を工夫して 組み立てよう</p>	<p>「すがたをかえる大豆」</p> <p>伝わりやすくする工夫 作り方が かんたんな順 つなぎ言葉</p> <p>「食べ物のみみつを教えます」</p> <p>伝わりやすくする工夫 思いうかべやすい順 段落の始めに 食品の名前 絵</p> <p>活動</p> <p>① 順番を考えて カードをならべる ② つなぎ言葉を 書く ③ 読み合う ④ 学習の ふり返りをする</p>	<p>食べ物のひみつを教えます</p>
---------------------------	---	---------------------

10 教材分析表

終わり	中							初め	
まとめ	説明							対象物の提示	
⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落	
多くの食べ方が考えられた理由	取り入れ時期や育て方を変えて食べる工夫	小さな生物の力で違う食品にする工夫	栄養だけを取り出して違う食品にする工夫	粉にして食べる工夫	炒ったり、煮たりする工夫	大豆の基礎知識	ほとんど毎日、食べている大豆	要点	